ふっさ 広報

七夕まつりキャラクター
「たっけー☆☆」

FUSSA

ホームページ http://www.city.fussa.tokyo.jp/

平成23年(2011年)
8月1日　No. 836
発行/福生市　編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511（市役所代表）
毎月1日・15日発行

▼福生市8月の主なイベント▼

4日(木)～7日(日)	第61回福生七夕まつり
14日(日)	平和のつどい
28日(日)	総合防災訓練

今号の主な記事
2面住民票等の電話予約サービス　3面市民活動災害補償制度　4面子宮頸がんワクチン供給再開についてのお知らせ
5面敬老大会にお越しください　6面都営住宅入居者募集　7面国体への協賛者募集　8面市職員・嘱託職員募集

平和のつどいにご参加ください

「市民が語る福生　語り継ぐ昭和」

市主催の「平和のつどい」を開催します。皆さんお誘いあわせのうえ、気軽にご参加ください。

24回目となる今年は「市民が語る福生　語り継ぐ昭和」をテーマに、貴重なその当時のお話を講演していただきます。

今年は、国民学校（小学校）での生活の様子や配給制度など、教育から遊びまで当時の暮らしぶりを清水信作氏にお話いただく予定です。また、昨年に引き続き、講演の後で、企画委員や会場の皆さんも参加していただき、座談会形式でディスカッションをする予定です。

また、ディスカッション後の催し物として、福生市在住のジャズシンガー、ダイナマイト・ミキ氏、福生児童合唱団「フレンズ」を招き、懐かしい日本の歌謡曲を一緒に歌っていただくことなどを企画しています。

日時 8月14日(日)午後1時開場、1時30分開演
場所 市民会館小ホール（つつじホール）
※入場無料
内容
【講演者】清水信作氏
テーマ「国民学校（小学校）のおもいで」
【座談会】坂本丁次氏・石川和夫氏・松坂直人氏・菅井憲一氏・高橋桂子氏
【演奏】ダイナマイト・ミキ氏、福生児童合唱団「フレンズ」
テーマ「みんなで歌おう昭和」
問合せ 総務課総務係☎551・1576

語り継ぐ昭和

今年は戦後66年で、平成23年。昭和86年にあたり、昭和も遠くなりつつあります。昭和といっても、大正生まれから戦後生まれまで男女、世代によって体験や見方が異なります。

この「平和のつどい」は、これまで9年間で30人以上の市民に戦後のふっさ昭和20年代、30年代を語っていただきました。戦時中の疎開、終戦、そして復興。そこで、今年から昭和全般について語っていただきます。

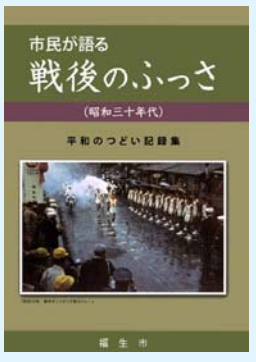
東日本大震災の混迷の時代。明るく生きる知恵や希望が、市民の語りから導き出されたらと願うものです。

平和のつどい企画委員　坂本 丁次

【平和のつどい記録集を販売しています】

平成19年から平成22年に行なわれた平和のつどい「市民が語る戦後のふっさ（昭和三十年代）」と、昭和57年に行なわれた市民の戦争体験に関する座談会を収録した記録集です。

価格 1冊740円
※市役所第一棟5階の総務課総務係または、市役所1階の会計課窓口で販売しています。



福生市表彰式が行なわれました

福生市表彰条例に基づき、次の方々が7月2日に表彰されました。

自治功労表彰

▼福生市議会議員として多年にわたり市の発展に貢献した功績に基づく表彰
小野澤久氏、髙橋章夫氏、原島貞夫氏、増田俊一氏

▼福生市監査委員として多年にわたり市の発展に貢献した功績に基づく表彰
沖倉強氏

一般表彰

▼町会長として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰
宇都紀男氏、沼崎敬三氏

▼町会長等として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰
細谷利久氏

▼社会福祉協力委員として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰
杉京子氏、井戸稔男氏、松崎孝子氏、山田富美子氏

▼学校薬剤師として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰
岸知氏

▼産業医として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰
西村邦康氏

▼交通安全推進委員会委員として多年にわたり市行政に貢献した功績に基づく表彰
辻川鉄夫氏、山下泰三氏

▼消防団員として多年にわたり消防行政に貢献した功績に基づく表彰
石川真史氏、森田尚之氏

問合せ 総務課総務係☎551・1576

表彰された皆さん

全力投球

福生市長　加藤育男
清潔で美しいまちづくり条例周知キャンペーンにて

世界に飛び出そう

近年、インターネット等の普及により、飛躍的に情報量が増加し、世界は狭くなったと言われています。私が子どもの頃は、テレビや本を見て、さまざまな国に思いを馳せ、一度は行ってみたいと憧れていたものです。

しかし今、若い人が海外に出て行きたがらないと聞きます。特に留学生は減少傾向にあるとのことで、誠に残念です。若いうちに、外から日本を見ることは得難い経験です。他国の文化や生活に触れれば、日本の良さを再認識することも多く、場合によっては逆に「これでは日本人として恥ずかしい」と感じる面も見えてくるでしょう。

ちょうど今、市内在住の中学生たちが海外派遣生として、米国シアトル市を訪れています。この事業が始まってから今回までに、合計254名の派遣生たちが旅立っています。短期間ですが、多くの人との出会い、触れ合い、別れの中で、さまざまな驚き、喜び、感動を体験するでしょう。人間形成の中で、国際人としての資質に磨きをかけて帰国してくれることを楽しみに待っています。

世界は広く、日本は世界の陸地面積のたった0・25％です。机上だけでなく、世界に飛び出して、多くの事を体験してください。若いうちです。

SPコード専用読取装置で、コードの文字情報を音声で聞くことができます。問合せ 秘書広報課広報広聴係☎551・1529